

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

(地方公共団体のGX関係)

○登録者情報

松野 祥太（まつの しょうた）

所在地 東京都

組織名・所属 役職

リファインホールディングス株式会社

新規事業本部 未来創造研究室 担当課長

略歴

2011 年 協和発酵バイオ株式会社 入社

2012 年 日本リファイン株式会社 入社

（※現：グループ体制移行に伴いリファインホールディングス株式会社）

2015 年～2018 年 兵庫県豊岡市役所へ出向

2018 年～2019 年 京都大学生態学研究センター 民間等共同研究員

2019 年～現在 同社 新規事業本部未来創造研究室 担当課長（現職）

○主な取組内容・実績

<脱炭素・GXに係る計画策定および低炭素モデルの社会実装>

- ・兵庫県豊岡市役所に出向し、自治体の脱炭素政策の根幹となる「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定実務に携わり、環境政策・GX 推進のフレームワーク構築に貢献。
- ・バックキャスト思考と環境負荷低減の暮らしを融合させ、雪冷熱を活用した冷蔵庫（雪室）を製作。地元企業との共同開発および特許取得支援（特許第 6611102 号）を行う。
- ・上記設備を用いた地場野菜の学校給食供給事業を推進し、開始 1 年間で市内の給食の地場野菜自給率を 15%から 32%へ向上させた。

<環境保全に関する産学連携研究>

- ・京都大学生態学研究センターにて民間等共同研究員として、産学連携による科学的アプローチから有毒藻類の除去に関する水質保全・環境研究に従事。

＜地域事業者の経営・財務マネジメント強化および資源循環の推進＞

- ・鹿児島県和泊町にて、赤字化し存続危機にあったきくらげ生産事業者に対し、「廃菌床を活用した自立循環型のビジネスモデル構築」を見据えた抜本的改革を実施。
- ・温湿度等のデータ分析に基づき、収率低下の主因（雑菌汚染）や未知の害虫を特定。生産管理のシステム化・可視化により属人的な管理から脱却。
- ・高効率な IoT 設備導入に向けた補助金申請実務を主導し、資金獲得に貢献。
- ・廃菌床とサトウキビの搾りかす（バガス）の発酵熱をエネルギーとして再利用する環境配慮型テスト機を設計・納入。
- ・ハード・ソフト両面からの包括的支援により生産量・収率を向上させ、事業の単年黒字化を達成。

○その他

＜支援可能な業務領域＞

【生産プロセス改善と経営強化】

地域の特産品等における生産現場の技術的課題を解決し、歩留まり向上を通じた事業者の収益力強化を支援します。

【未利用資源の高付加価値化】

事業活動で発生する未利用資源（廃棄物等）を分析し、高付加価値な資源への転換とコスト削減を支援します。

【地域循環（GX）モデルの構築】

自治体や他産業と連携し、地域の資源が循環するサーキュラーエコノミーの構築と、GX 推進に向けたロードマップ策定を総合的に支援します。

＜公的プログラム等の活用実績＞

【総務省「地域活性化起業人（旧・地域おこし企業人）」プログラム】

兵庫県豊岡市役所へ出向（2015～2017 年度）。行政組織の内部から地域の課題解決や環境政策の推進に携わった実績を有しています。

＜主な登壇・メディア掲載実績＞

【2016 年 1 月 18 日：日刊工業新聞】

「ネイチャーテクノロジー研究会シンポジウム」への登壇実績が掲載。

【2016 年 9 月 30 日：日刊工業新聞】

豊岡市で取り組んだ「雪室（ゆきむろ）実証実験」の先進的な取り組みが掲載。

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業
アドバイザー取組分野 一覧

氏名： 松野 祥太

【地方公共団体のGX関係】

取組分野	下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください(複数回答可)	
	1	公共施設等の脱炭素化
	2	住宅・建築物等の脱炭素化
	○	循環経済への移行を通じた脱炭素化
	4	脱炭素型まちづくり
	○	食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立
	6	脱炭素型ライフスタイルへの転換
	7	地域共生型・地域裨益型の再エネ導入の推進
	8	系統連携・地域におけるエネルギー需給マネジメント
	9	新たな技術の地域における実装・需要創出
	10	その他()